

# 在宅勤務時でも Microsoft 365へ 安心アクセス！

～Windows 10 編～

- Microsoft 365アクセス時の問題点
- 在宅勤務時でも安心してMicrosoft 365へアクセスする為に
- ユーザー利用の流れ
- Windows 10を管理する「Microsoft Intune」
- Windows 10を制御する「Azure AD Premium」
- ユーザー側での設定の流れ
- 管理者側での設定の流れ
- 本日まで紹介した在宅勤務でも安全な機能が使えるプラン
- まとめ

# Microsoft 365アクセス時の問題点

Microsoft 365を制限せずに利用するのは、便利ではあるが問題点が…

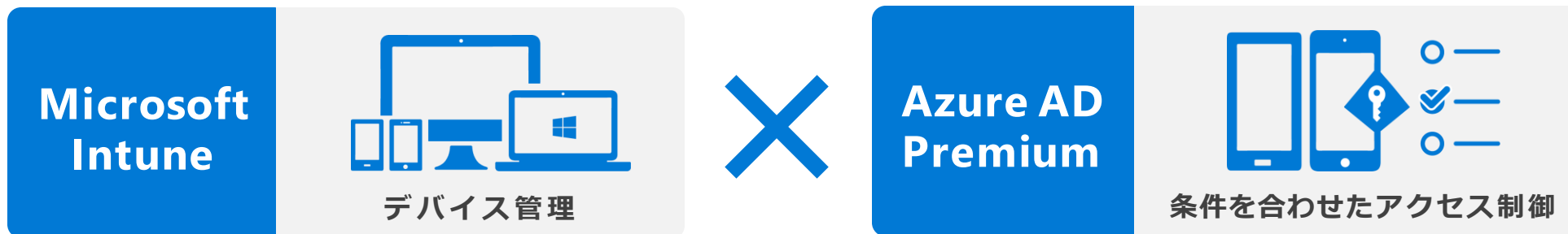


Microsoft 365を  
安心安全に利用するには



# 在宅勤務時でも安心してMicrosoft 365へアクセスする為に

Microsoft 365へのアクセスを行うには以下の2つがお勧めです！



アクセスできるデバイスを管理・制御することで、安心安全なMicrosoft 365へのアクセスを実現

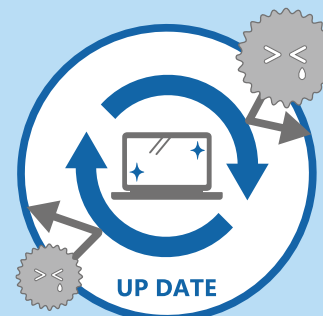
管理・制御が  
できている場合



決められた  
デバイスからのアクセス



もしもの時の  
リモートワイプ



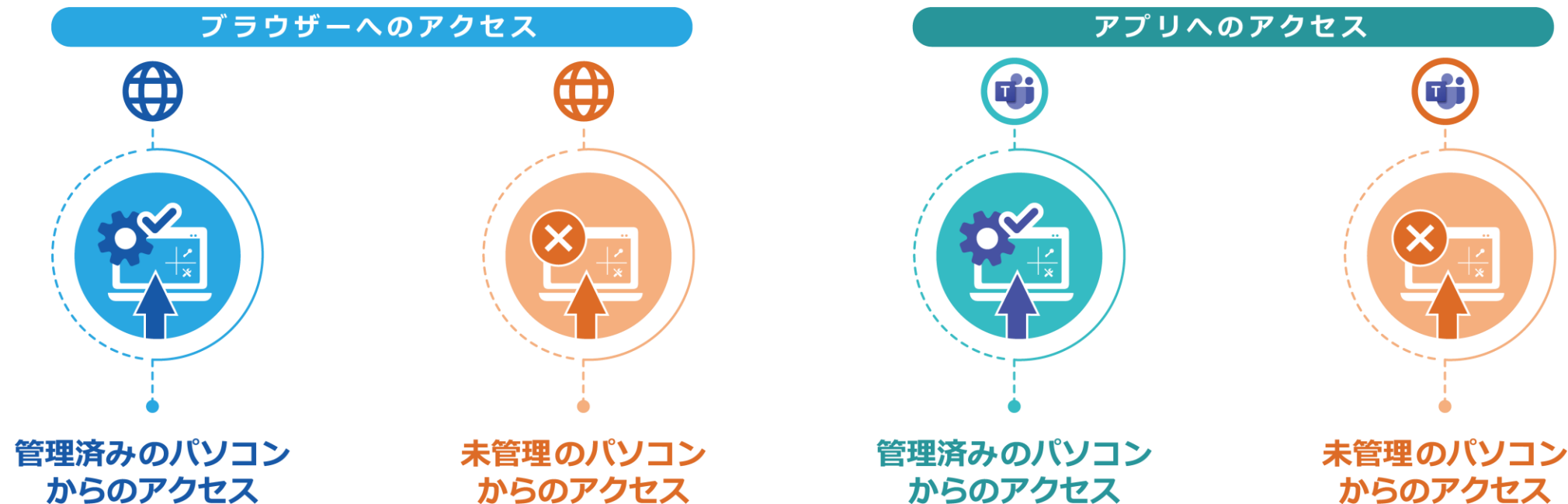
Windowsの  
バージョンを管理

会社のルールに  
沿った運用が可能



# ユーザー利用の流れ

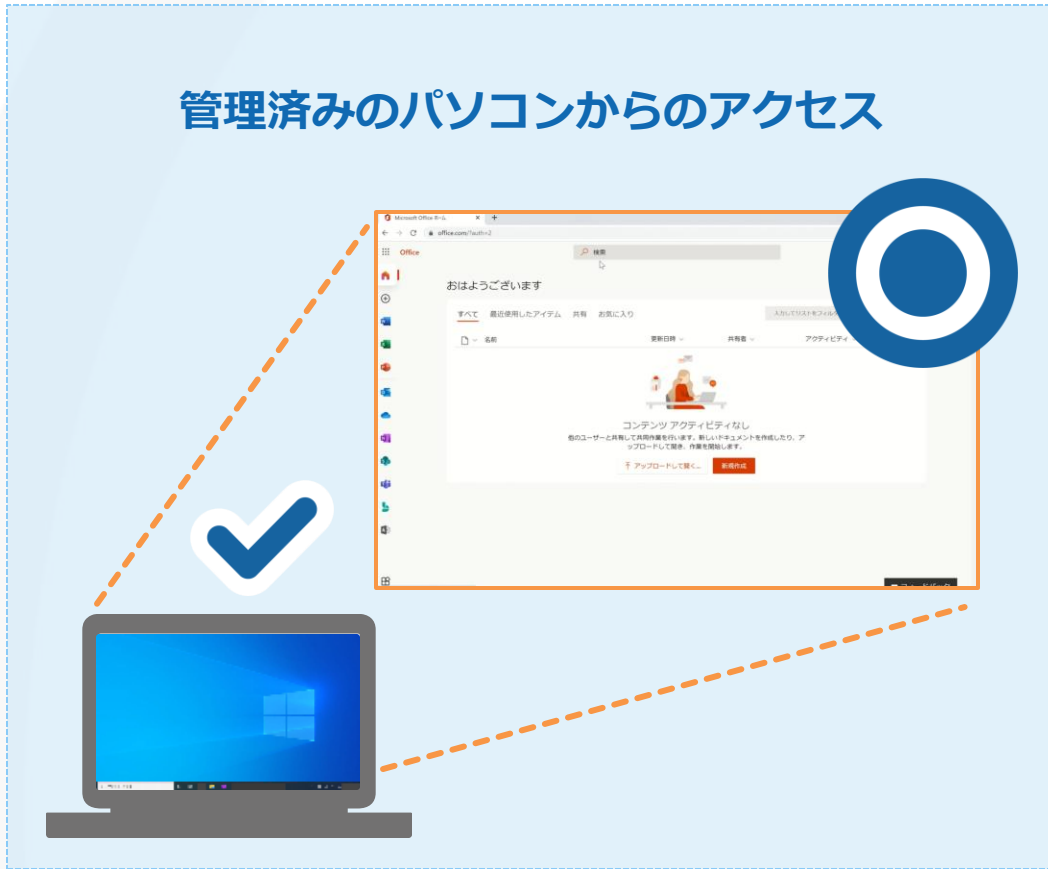
Intuneにより管理済みのパソコンと未管理のパソコンからそれぞれ、Microsoft 365へアクセスした際の実際の動きを確認していきましょう



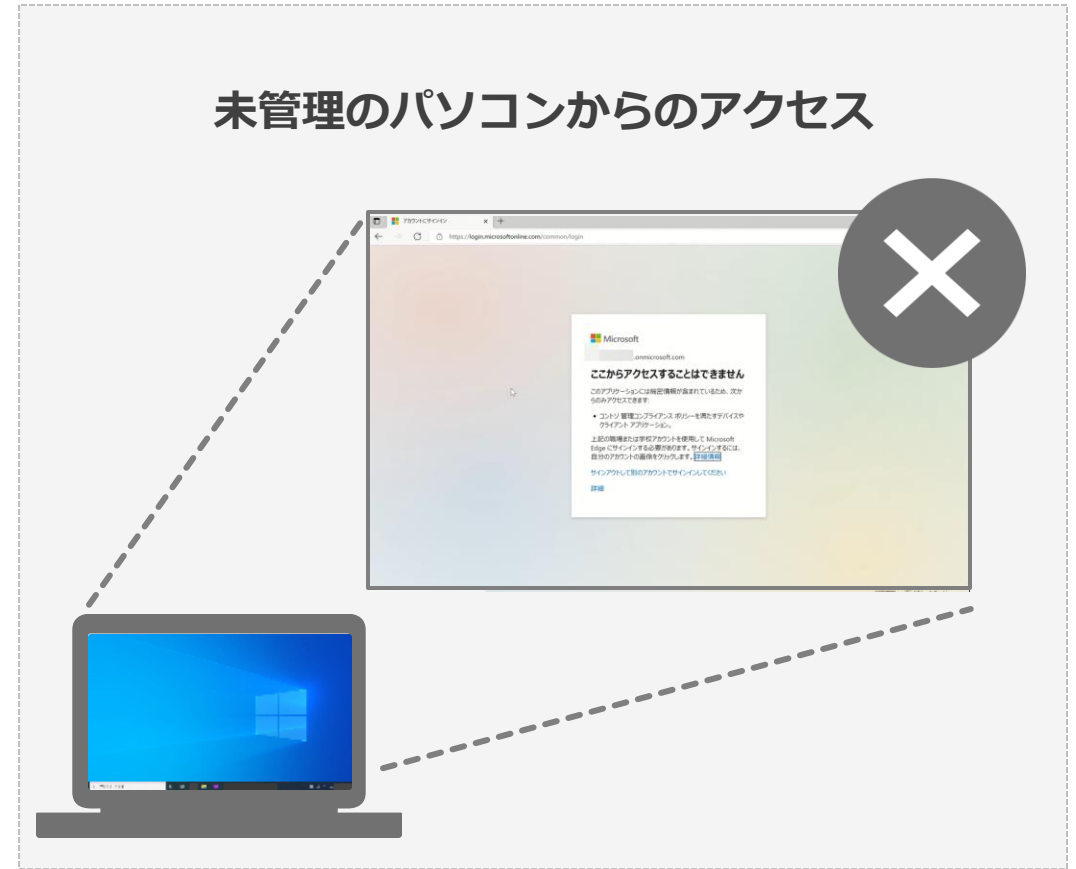
※Intuneにより未管理のパソコンからはアクセスできない様にAzure AD Premiumにて制御しています  
※アプリへのアクセスは例として、**Teamsへのサインイン**を実施しています

# ブラウザへのアクセス

## 管理済みのパソコンからのアクセス



## 未管理のパソコンからのアクセス



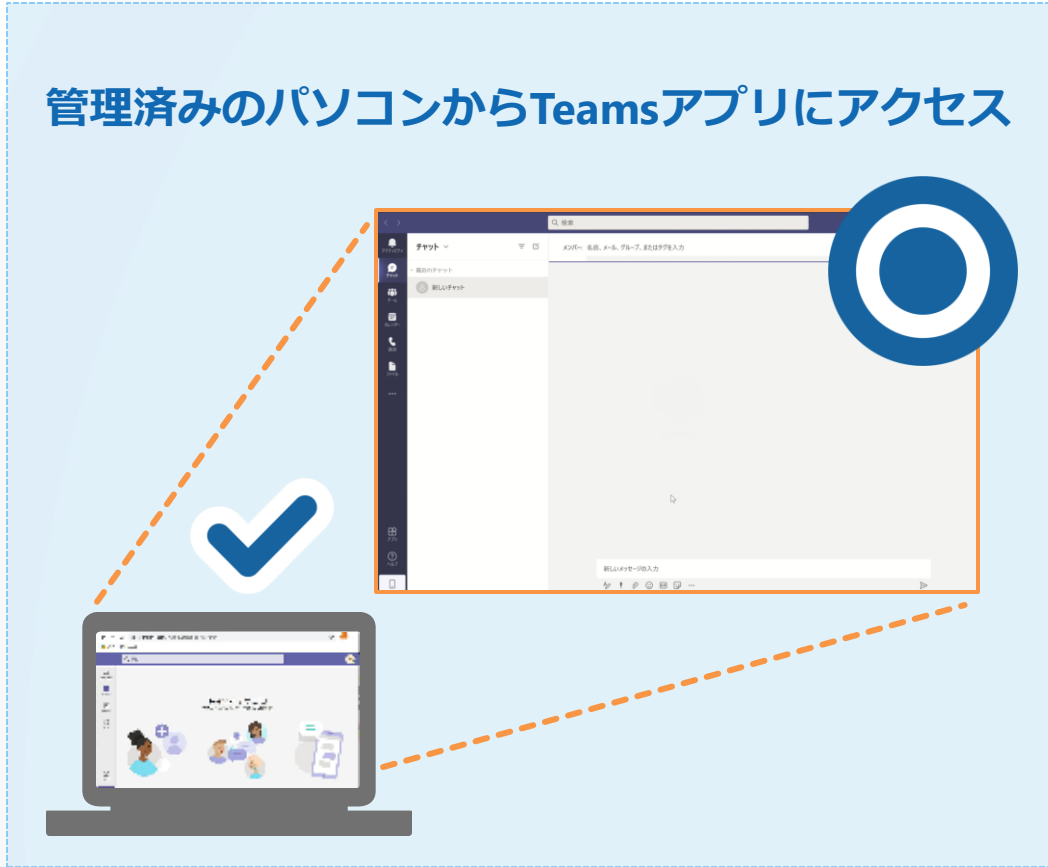
管理済みのパソコンであればMicrosoft 365にアクセスできますが、未管理のパソコンからのブラウザアクセスはブロックされ、アクセスすることができません

動画でチェックしたい方は[こちらより](#)もしくはQRコードよりご確認ください

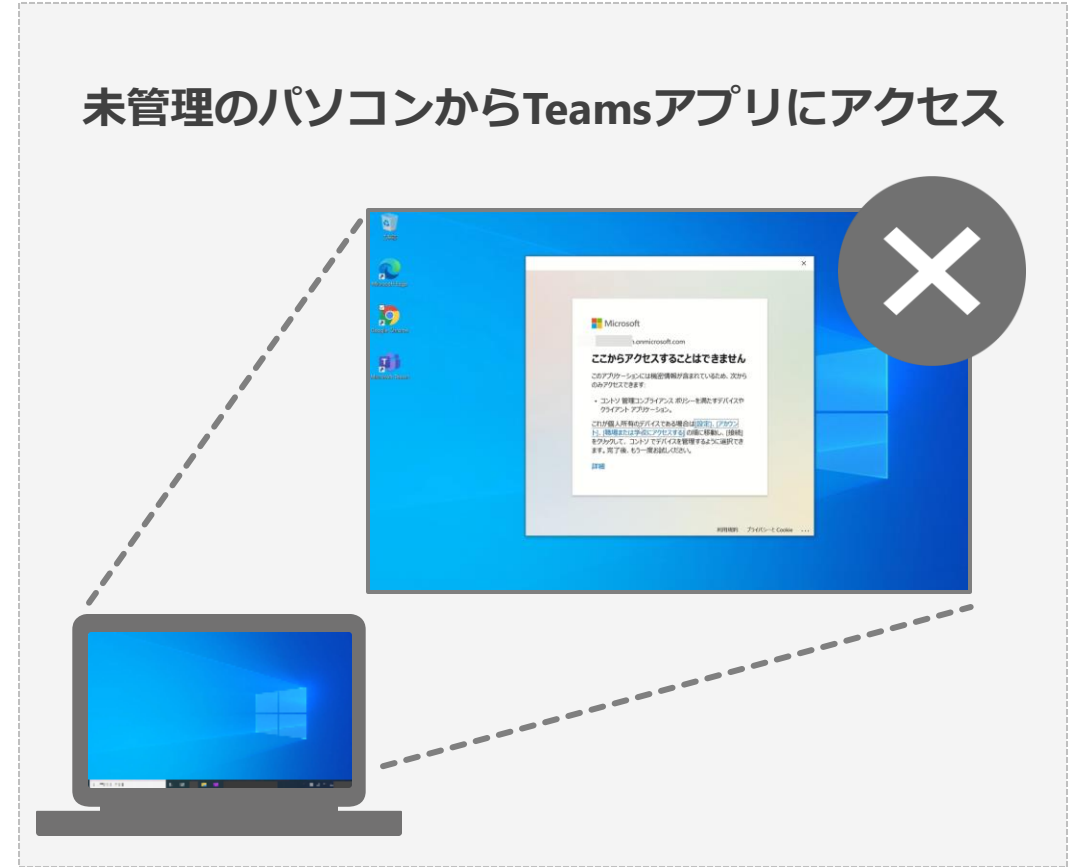


# Teamsアプリへのアクセス

## 管理済みのパソコンからTeamsアプリにアクセス



## 未管理のパソコンからTeamsアプリにアクセス



管理済みのパソコンであれば、Teamsアプリにアクセスできますが、未管理のパソコンからのTeamsアプリへのアクセスはブロックされ、アクセスすることができません

動画でチェックしたい方は[こちらより](#)もしくはQRコードよりご確認ください



# Windows 10を管理する「Microsoft Intune」

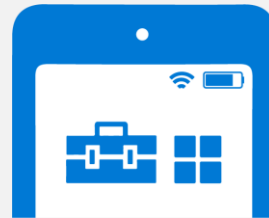
デバイス管理機能を提供するプランで、**Microsoft 365のセキュリティを向上させる**ことが可能です  
具体的に出来ることの一例をあげます

## デバイス管理



Windows 10以外にも mac OS  
Android OS・iOS の管理も可能に

## アプリケーション管理



主にスマートフォン、タブレットの  
アプリケーションを管理可能

## 条件付きアクセス



会社のルールに沿ったアクセス  
(Azure AD Premiumとの組み合わせ)

デバイス管理で、リモートワイプも可能に！ もしもの時に得られる安心のセキュリティ！  
これからの**Microsoft 365利用に欠かせないサービス**です



# Windows 10を制御する「Azure AD Premium」

高度な認証やアクセス制御を提供するプランで、**Microsoft 365のセキュリティを向上させる**ことが可能です  
Windows 10を制御する以外に、具体的に出来ることの一例をあげます

## セルフパスワードリセット



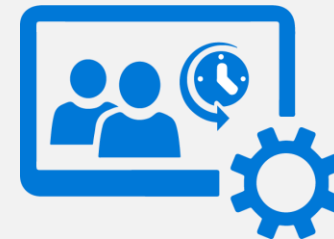
ユーザーがPWを忘れた場合に  
自身で再発行

## シングルサインオン



Microsoft 365や他のクラウド  
サービスへシングルサインイン

## グループの有効期限設定



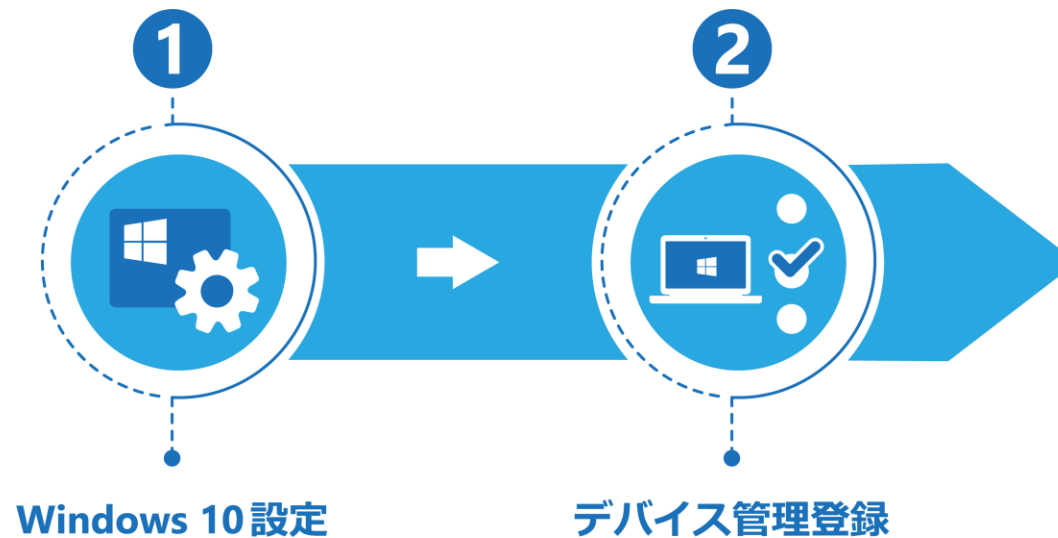
グループを制御し、作成したTeams  
のチームに有効期限設定が可能に

etc...

クラウドを活用する中、会社のルールに則った運用を実現！  
これからの**Microsoft 365利用に欠かせないサービス**です

# ユーザー側での設定の流れ

以下の流れに沿って、ユーザー（利用者）が必要になる設定を確認していきましょう

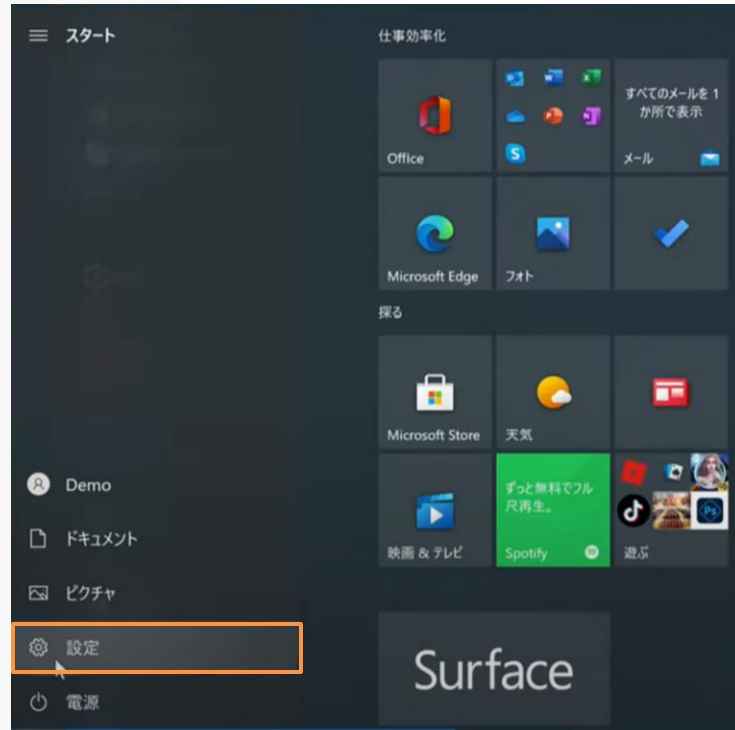


※設定にはPC管理者である必要がございますので、事前にご確認をお願いします

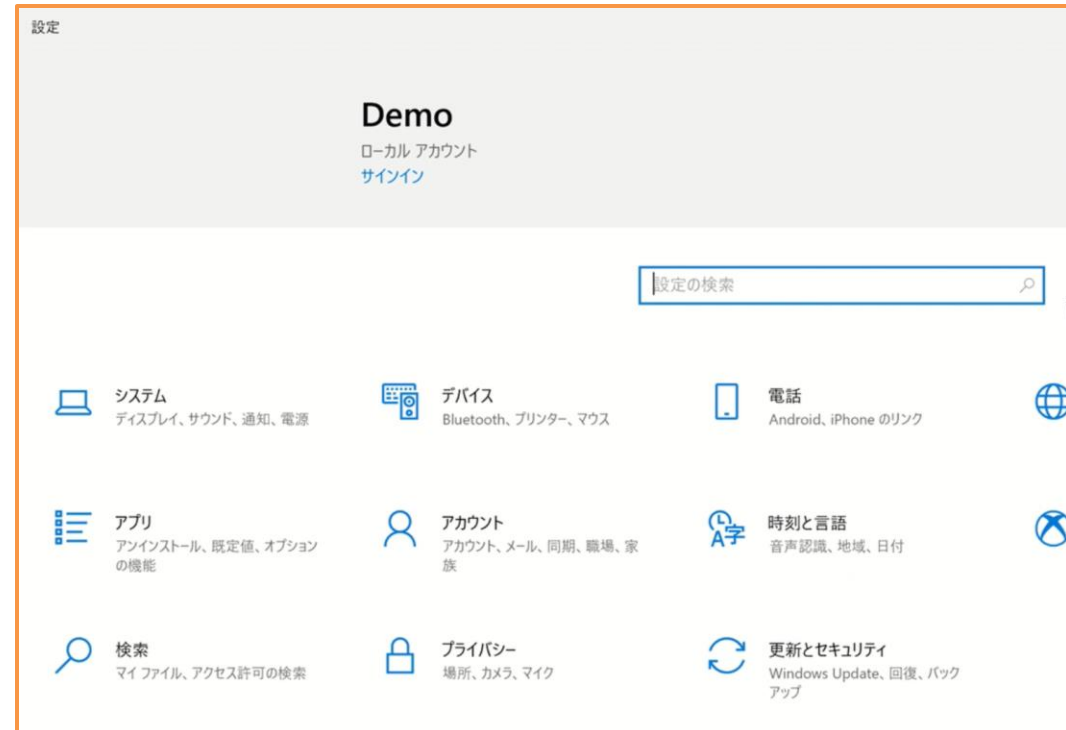
# Windows 10の設定を表示

事前準備としてWindows の設定を開きます

Windows 10の設定を選択



設定が開きます



動画でチェックしたい方は[こちらより](#)  
もしくはQRコードよりご確認ください



# デバイス管理登録

アカウントから「職場または学校にアクセスする」にデバイスを登録します

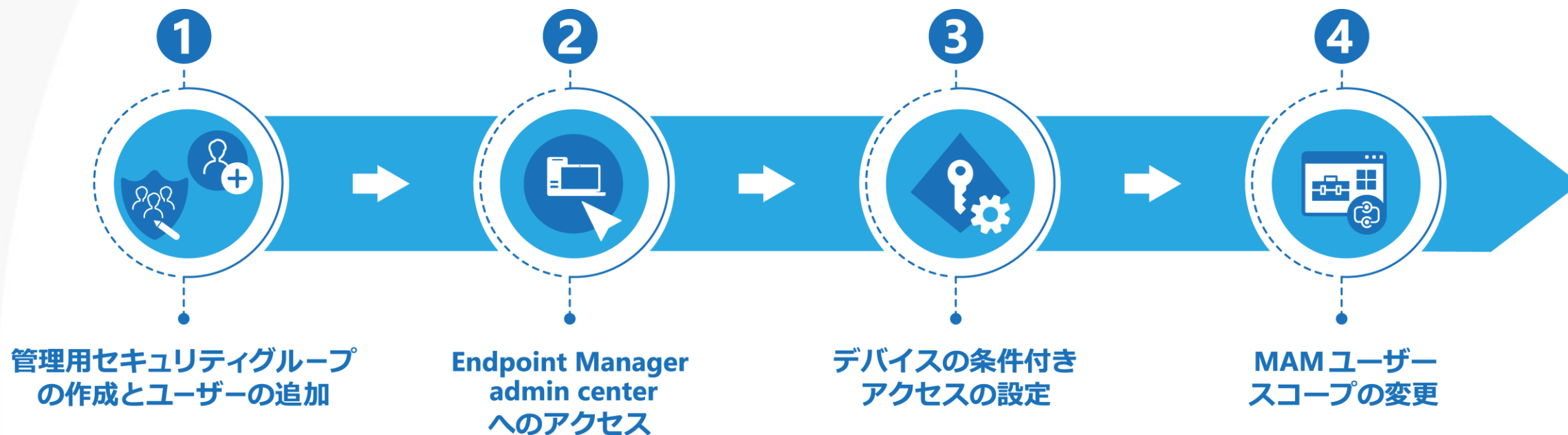


動画でチェックしたい方は[こちらより](#)もしくはQRコードよりご確認ください



# 管理者側での設定の流れ

以下の流れに沿って、管理者が必要になる設定を確認していきましょう



※設定にはMicrosoft 365の管理者である必要がございますので、事前にご確認をお願いします

# 管理用セキュリティグループの作成とユーザーの追加①

セキュリティーグループを作成し、その中に管理したいメンバーを追加します  
ルール適用をコントロールするために、グループのメンテナンスを行います

1 Microsoft 365管理センターへアクセス→管理を選択

2 グループで制御したいため、グループ→アクティブなグループを選択

3 グループの追加を選択

4 セキュリティにチェック

5 次へ を選択

6 グループ名を入力

7 次へ を選択

8 グループを作成 を選択

9 閉じる を選択

動画でチェックしたい方は[こちらより](#)  
もしくはQRコードよりご確認ください



# 管理用セキュリティグループの作成とユーザーの追加②



動画でチェックしたい方は[こちらより](#)  
もしくはQRコードよりご確認ください



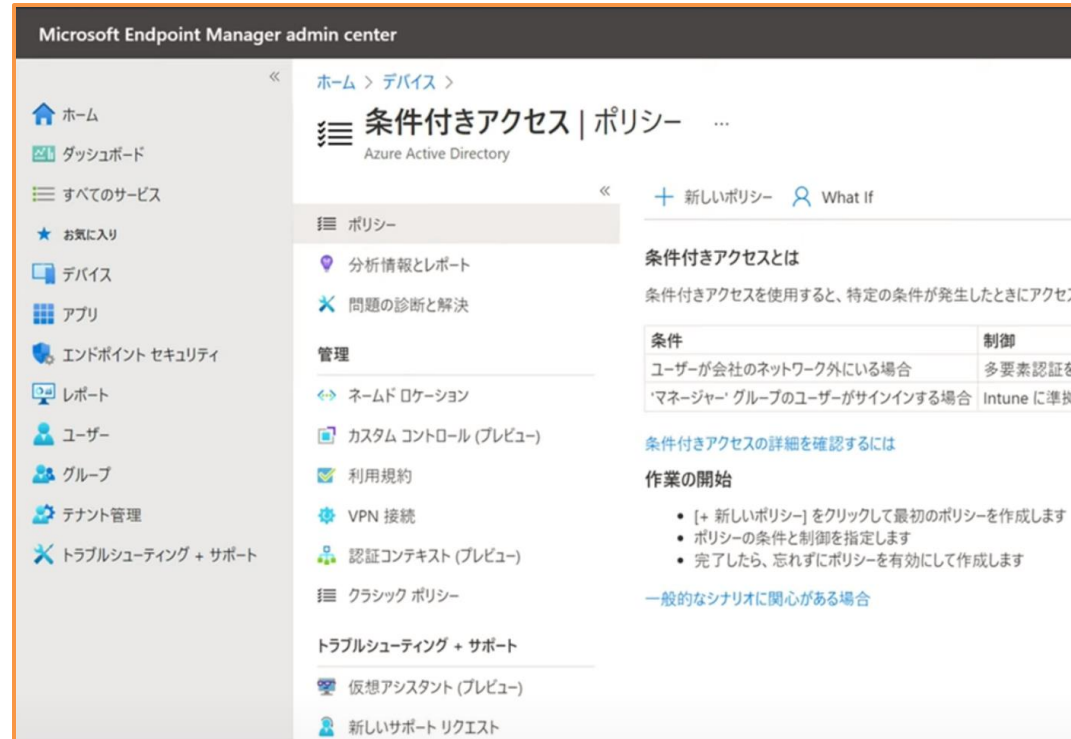
# Endpoint Manager admin center へのアクセス

エンドポイントマネージャーにアクセスします

Microsoft 365管理センターの管理センターから、エンドポイントマネージャーを選択



エンドポイントマネージャーにアクセス



動画でチェックしたい方は[こちらより](#)もしくはQRコードよりご確認ください





# デバイスの条件付きアクセスの設定①

作成したセキュリティーグループに対して、Windowsデバイスからのアクセス、ブラウザーとデスクトップクライアントからMicrosoft 365へアクセスする設定を行います



動画でチェックしたい方は[こちらより](#)もしくはQRコードよりご確認ください



# デバイスの条件付きアクセスの設定②

条件→0個の条件が選択されましたを選択

デバイスプラットフォームの未構成を選択

クライアントアプリから未構成を選択

構成をはいに変更

デバイスプラットフォームの選択にチェック

Windowsにチェック

**完了** を選択 **19**

ポリシーの有効化をオンに変更

**設定完了!**

アクセス制御の許可から0個のコントロールが選択されましたを選択

アクセス権の付与にチェック

デバイスは準拠しているとしてマーク済みである必要がありますにチェック

選択したコントロールすべてが必要にチェック

**選択** を選択 **28**

アクセスのブロック

アクセス権の付与

多要素認証を要求する

デバイスは準拠しているとしてマーク済みである必要があります

Hybrid Azure AD Joinを使用したデバイスが必要

承認されたクライアントアプリが必要です

複数のコントロールの場合

選択したコントロールすべてが必要

選択したコントロールのいずれかが必要

アクセス制御の許可から0個のコントロールが選択されましたを選択

動画でチェックしたい方は[こちらより](#)もしくはQRコードよりご確認ください



# MAM ユーザーズコープの変更

MAMのスコープから外す設定を行います

今回の設定では、MAMの対象から外すことで、Microsoft 365にアクセス可能となります

The screenshot illustrates the process of changing the MAM user scope in the Microsoft Endpoint Manager admin center. It is divided into three main sections:

- Section 1: Navigation**
  - Checkboxes:  デバイスを選択,  デバイスの登録を選択
  - Step 1: Select "デバイス" (Devices) in the left-hand navigation menu.
  - Step 2: Select "デバイスの登録" (Device registration) in the sub-menu.
- Section 2: Device Registration Settings**
  - Checkboxes:  自動登録を選択
  - Step 3: In the "自動登録" (Automatic registration) section, click the "保存" (Save) button.
- Section 3: MAM User Scope Configuration**
  - Checkboxes:  MAMユーザーズコープをなしに変更,  保存を選択
  - Step 4: In the "構成" (Configuration) section, select "なし" (None) for the "MAM ユーザーズコープ" (MAM user scope) dropdown.
  - Step 5: Click the "保存" (Save) button at the top of the configuration page.

動画でチェックしたい方は[こちらより](#)  
もしくはQRコードよりご確認ください



# 本日より紹介した在宅勤務でも安全な機能が使えるプラン

本日より紹介したMicrosoft 365のサービスをお使いいただくには

## スイートプラン

OfficeやOffice 365以外にも  
セキュリティ強化サービスが含まれたプラン

<b>Microsoft 365</b> <b>Business Premium</b> ※既にAzure AD Premium Plan1 が含まれます	<b>Microsoft 365</b> <b>E3</b> ※既にEnterprise Mobility+securityE3 が含まれます
	<b>Microsoft 365</b> <b>E5</b> ※既にEnterprise Mobility+securityE5 が含まれます

中小企業様向けスイートプラン

<b>Microsoft 365</b> <b>Business Standard</b> ※既にMicrosoft 365 Apps for Business が含まれます	<b>Microsoft 365</b> <b>Business Basic</b>
--	---

大規模ユーザーにも対応したプラン

<b>Office 365</b> <b>E1</b>	<b>Office 365</b> <b>E5</b> ※既にMicrosoft 365 Apps for Enterprise が含まれます
<b>Office 365</b> <b>E3</b> ※既にMicrosoft 365 Apps for Enterprise が含まれます	

お持ちのプランが不明な場合は、  
販売店様までお問い合わせください!



オプションでプランを選択・追加できます!

セキュリティ系サービススイートプラン

- Enterprise Mobility + Security** E3
- Enterprise Mobility + Security** E5

# まとめ

在宅勤務時でも安心してMicrosoft 365を使ってもらいたい と思っている皆様に必見！



## ① 会社ルールを設定

## ② 運用ガイドラインを作成

## ③ 社内周知

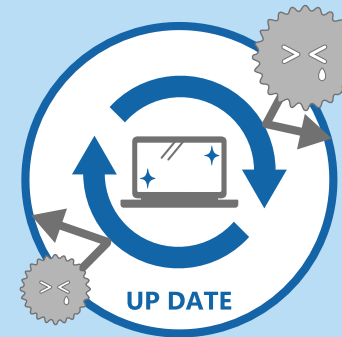
管理・制御が  
できている場合



決められた  
デバイスからのアクセス



もしもの時の  
リモートワイプ



Windowsの  
バージョンを管理

会社のルールに  
沿った運用が可能



是非、**Microsoft Intune & Azure AD Premium**を使った  
Microsoft 365へ安心アクセスの導入をご検討ください！

